

第 13 回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー

テーマ：高活性と高耐久性を両立する触媒を目指して (VI)

1. 趣旨概要

触媒学会燃料電池関連触媒研究会では燃料電池に関連した触媒技術を研究対象とし、高活性・高耐久性触媒、低コスト化を含めた触媒合成法、触媒の反応機構と基礎物性、評価・解析技術等、燃料電池用触媒に関する学術情報交換を行っています。この新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナーでは燃料電池用電極触媒に関する最近の研究開発状況と今後の展開について講演頂くと同時に、参加者が親しく情報交換するのが大きな特色です。したがって、あらゆる分野からの参加者を歓迎いたします。2014 年から燃料電池自動車の市販が開始されましたが、触媒の高活性化と高耐久性化を同時に達成するには至っておらず、これらを同時に満たす触媒材料開発を推進することが燃料電池全体の低コスト化と幅広い普及への鍵となります。

第 13 回宿泊セミナーでは、FC-Cubic の今井氏から「燃料電池部材の分析事例」、日立ハイテクの矢口氏から「雰囲気制御 TEM を用いた Pt 系触媒のその場観察」、AGC の平居氏から「次世代 PEFC に向けたフッ素系電解質材料の研究開発」、同志社大学の大門先生から「私が思う PEFC 用 Pt 系触媒」、東京大学の杉野先生から「燃料電池反応がなぜ白金で高効率で起こるのか」、東北大学の徳増先生から「分子シミュレーションを用いた MEA 内で生じる物質輸送現象の解析」および豊田中研の吉川氏から「分子動力学計算を用いたアイオノマ-カーボンナノ構造の解析」と題して講演して頂きます。

また、ポスターセッションでは電極触媒に限定することなく燃料電池に関連する研究を広く募集します。学生の方には優秀ポスター賞を用意しておりますので、奮ってご参加ください。

主催：触媒学会 (燃料電池関連触媒研究会)、燃料電池開発情報センター、FC 懇談会
協賛：日本表面真空学会、大阪科学技術センター、電池技術委員会、水素エネルギー協会
シンポジウム&宿泊セミナー準備委員会：燃料電池関連触媒研究会世話人有志

2. 開催日時と会場

- ・日時：2022 年 11 月 25 日 (金) 12:30～2022 年 11 月 26 日 (土) 12:00
- ・会場：〒411-0032 静岡県三島市末広町 21-9 東レ総合研修センター TEL: 055-980-0333
https://cs2.toray.co.jp/company_information/toray/compinfo01.nsf/release/loc_004?opendocument

3. 参加申し込み

- ・参加申し込みとポスター発表申し込み締め切り：11 月 7 日 (月) 17:00 厳守。
- ・ポスター発表発表要旨の締め切り：11 月 14 日 (月) 13:00 講演要旨の印刷ができなくなりますので厳守願います。 A4 用紙 1 枚にフリーフォーマットでタイトルと所属を明記の上、下記の横田までメールで送付してください。
- ・参加費 (内税)：一般会員 18,000 円、一般非会員 25,000 円、学生 3,000 円、当日現金払い、領収書お渡し。
- ・宿泊費：7,000 円 (夕食・朝食込み、宿泊施設は研修センター内にあります)、当日現金払い、領収書お渡し。
- ・参加申し込み方法と問合せ先
氏名、所属、連絡先 (住所、電話番号、メールアドレス)、宿泊の有無およびポスター発表の有無を明記の上、下記の横田までメールでお申し込みください。

同志社大学 横田秘書メールアドレス: jt-ksi37@mail.doshisha.ac.jp
同志社大学 横田 電話番号: 0774-65-6589

